

14時30分解禁

平成24年6月 全国百貨店売上高概況

平成24年7月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,829億円余
2. 前年同月比	-1.2% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,293,312㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	85,521人 (前年同月比:-5.3%)
6. 3か月移動平均値	11-1月 -0.6%、12-2月 -0.1%、1-3月 4.0%、 2-4月 5.1%、3-5月 4.7%、4-6月 -0.3%

[参考] 平成23年6月の売上高増減率は0.3% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスとなった。

6月は、平年に比べて梅雨入り後の降雨量が多かったことや台風4号の上陸、更には全国的に気温が低めに推移したことなど、不安定な天候が入店客数と主力の夏物衣料(衣料品:-2.7%)の売行きに影響して、前年実績を僅かに下回る結果となった。

一方、高級時計・宝飾品・輸入特選雑貨等の高額商材(美・宝・貴:+3.1%)、改装効果のあった化粧品(+2.7%)、肉食志向を背景とした惣菜(+3.5%)などが好調に推移したほか、父の日商戦や中元の早期受注も堅調であったが、総売上をプラス転換するまでには至らなかった。

その他具体的な要因としては、昨年復興需要で大きく伸ばした反動から仙台(-1.3%)と東北(-0.7%)が共に2か月連続で微減となったこと、福岡地区(+0.8%)が47か月ぶりに前年同月比プラスとなったこと、主力店の改装効果で名古屋(+3.8%)が活況であったこと、外国人売上(+31.1%)が引き続き着実な回復傾向を示していること、等が報告されている。

なお、今年上半期(1月-6月)累計伸び率は1.8%と、07年以来5年ぶりにプラスとなった。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 活発な梅雨前線や台風4号の影響で西日本を中心に降水量がかなり多かった。一方、北に偏った高気圧が覆ったため、北・東日本の日本海側では降水量が少なかった。気温は北日本を除いて平年より低めに推移した。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日(〃 +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した:34店、②変化なし:34店、③減少した:62店、④不明:40店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)

①増加した:35店、②変化なし:36店、③減少した:47店、④不明:52店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)

①増加する:16店、②変化なし:83店、③減少する:24店、④不明:47店

全国百貨店 売上高速報 2012年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	482,991,169	100.0	-1.2 (-2.0)
10都市	316,875,333	65.6	-0.7 (-1.2)
札幌	11,502,401	2.4	-0.6
仙台	6,702,801	1.4	-1.3
東京	124,975,044	25.9	-0.1 (-0.8)
横浜	29,518,099	6.1	-1.2
名古屋	28,218,088	5.8	3.8
京都	18,366,420	3.8	0.1
大阪	59,599,277	12.3	-4.2
神戸	12,927,559	2.7	1.0 (-3.5)
広島	11,005,215	2.3	-3.1
福岡	14,060,429	2.9	0.8
10都市以外の地区	166,115,836	34.4	-2.0 (-3.5)
北海道	2,701,259	0.6	-4.1
東北	8,541,598	1.8	-0.7
関東	81,687,448	16.9	-2.6 (-4.7)
中部	12,423,604	2.6	-5.4
近畿	16,860,384	3.5	-2.2
中国	11,875,386	2.5	-0.5
四国	8,463,391	1.8	0.1
九州	23,562,766	4.9	0.0 (-2.7)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	482,991,169	100.0	-1.2 (-2.0)
紳士服・洋品	34,719,123	7.2	-3.6 (-4.2)
婦人服・洋品	99,874,240	20.7	-2.3 (-3.1)
子供服・洋品	9,071,622	1.9	-1.6 (-3.4)
その他衣料品	12,141,001	2.5	-4.2 (-4.7)
衣 料 品	155,805,986	32.3	-2.7 (-3.5)
身のまわり品	58,757,175	12.2	-0.2 (-1.8)
化粧品	26,578,892	5.5	2.7 (2.2)
美術・宝飾・貴金属	24,873,691	5.1	3.1 (2.6)
その他雑貨	17,874,949	3.7	-6.8 (-7.1)
雑 貨	69,327,532	14.4	0.2 (-0.3)
家 具	6,292,328	1.3	2.1 (1.8)
家 電	1,902,127	0.4	12.8 (12.7)
その他家庭用品	15,526,582	3.2	-5.7 (-6.6)
家 庭 用 品	23,721,037	4.9	-2.4 (-3.1)
生 鮮 食 品	31,350,603	6.5	-2.7 (-3.4)
菓 子	35,486,921	7.3	0.9 (0.2)
惣 菜	29,045,211	6.0	3.5 (2.9)
その他食料品	49,950,279	10.3	-2.4 (-3.0)
食 料 品	145,833,014	30.2	-0.5 (-1.2)
食 堂 喫 茶	13,918,345	2.9	-1.4 (-1.8)
サ ー ビ ス	5,457,447	1.1	7.6 (6.6)
そ の 他	10,170,633	2.1	-2.4 (-3.6)
商 品 券	21,073,949	4.4	-11.0 (-11.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-----------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.7% (店舗数調整後／2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.0% (〃 ／3か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.7	-0.5	2か月連続マイナス
札幌	-0.6	0.0	3か月連続マイナス
仙台	-1.3	0.0	2か月連続マイナス
東京	-0.1	0.0	4か月ぶりマイナス
横浜	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	3.8	0.2	2か月ぶりプラス
京都	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	-4.2	-0.5	3か月連続マイナス
神戸	1.0	0.0	2か月連続プラス
広島	-3.1	-0.1	3か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	47か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-2.0	-0.7	3か月連続マイナス
北海道	-4.1	0.0	3か月連続マイナス*
東北	-0.7	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-2.6	-0.4	3か月連続マイナス
中部	-5.4	-0.1	3か月連続マイナス
近畿	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
中国	-0.5	0.0	3か月連続マイナス*
四国	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
九州	0.0	0.0	4か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が5か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品。また、化粧品、家電が5か月連続、美術・宝飾・貴金属が8か月連続のプラス、惣菜が2か月ぶり、菓子が3か月ぶり、家具が11か月ぶりにプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.2	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.6	-0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.3	-0.5	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.6	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-4.2	-0.1	3か月連続マイナス
衣料品	-2.7	-0.9	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
化粧品	2.7	0.1	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.1	0.2	8か月連続プラス*
その他雑貨	-6.8	-0.3	3か月連続マイナス*
雑貨	0.2	0.0	5か月連続プラス
家具	2.1	0.0	11か月ぶりプラス
家電	12.8	0.0	5か月連続プラス
その他家庭用品	-5.7	-0.2	3か月連続マイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-2.7	-0.2	3か月連続マイナス*
菓子	0.9	0.1	3か月ぶりプラス*
惣菜	3.5	0.2	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-2.4	-0.2	4か月ぶりマイナス*
食料品	-0.5	-0.2	3か月連続マイナス
食堂喫茶	-1.4	0.0	2か月連続マイナス
サービス	7.6	0.1	2か月ぶりプラス
その他	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
商品券	-11.0	-0.5	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成24年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年7月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,249億円余
2. 前年同月比	-0.1% (店舗数調整後/4か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.2%(89.4%) : 非店頭1.1%(10.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	911; 369㎡ (前年同月比:-0.8%)
6. 総従業員数	19,446人 (前年同月比:-0.9%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%、1-3月 6.1%、 2-4月 10.2%、3-5月 11.3%、4-6月 2.8%

[参考] 平成23年6月の売上高増減率は0.4% (店舗数調整後)

【6月売上の特徴】

- (1) 6月の東京地区は、気温も低く推移したことにより、夏物衣料の動きが鈍くなったが、レイン関連グッズや晴雨兼用傘等に動きが見られた。
一方、天候不順の中、早くもUVスキンケア関連の化粧品が動きはじめている。
- (2) 昨年好調であったクールビズや節電関連商品は、天然素材のジャケットやベスト、機能(ストレッチ)・素材(天然)・デザインにこだわった一部商品に動きがあるものの、昨年大きく伸ばしていたワイシャツ・肌着・扇子については、反動減となった店が多かった。
- (3) 昨年の花火大会自粛の反動や買い換え需要のため、ゆかたが好調に動いており、6月の時点で仕立てものの高級ゆかたが2桁以上の伸びを示した店が複数見られた。
- (4) 法人外商を中心に非店頭売上が好調となり、特に家具・家電について複数の店舗で売上が150~300%台の伸びを見せたため、都内全店の売上を2桁増(家具: +14.3%、家電: +57.9%)とした。
- (5) 7月中間段階における商況は、梅雨明けが昨年より8日遅れるなど上旬の天候不順の影響もあり、月初は伸び悩んだものの、2週目から盛り返しており、多くの店で前年クリアの勢いにある。なお中元商戦は、通期で前年並みとなる見通しである。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 3店、③減少した: 14店、④不明: 0店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 4店、③減少した: 9店、④不明: 2店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 3店、②変化なし: 11店、③減少する: 5店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年06月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	124,975,044	100.0	-0.1 (-0.8)
紳士服・洋品	9,850,819	7.9	-3.6
婦人服・洋品	21,891,341	17.5	-5.5 (-6.2)
子供服・洋品	1,688,760	1.4	-3.8
その他衣料品	2,481,054	2.0	-4.5
衣 料 品	35,911,974	28.7	-4.8 (-5.3)
身のまわり品	16,447,227	13.2	5.8 (2.6)
化粧品	6,538,632	5.2	5.2
美術・宝飾・貴金属	7,258,119	5.8	6.7
その他雑貨	5,594,270	4.5	-7.4
雑 貨	19,391,021	15.5	1.7
家 具	2,061,471	1.6	14.3
家 電	1,127,086	0.9	57.9
その他家庭用品	4,041,991	3.2	-11.3 (-12.3)
家 庭 用 品	7,230,548	5.8	2.2 (1.5)
生 鮮 食 品	6,189,217	5.0	0.1
菓 子	9,532,528	7.6	4.3
惣 菜	7,106,793	5.7	6.9
その他食料品	14,433,264	11.5	-1.0 (-1.5)
食 料 品	37,261,802	29.8	1.9 (1.7)
食 堂 喫 茶	3,090,874	2.5	-3.1 (-4.0)
サ ー ビ ス	2,415,389	1.9	20.7
そ の 他	3,226,209	2.6	-17.1 (-19.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	5,574,074 千円	-24.8 (-25.0)
従 業 員 数	19,446 人	-0.9
店 舗 面 積	911,369 m ²	-0.8

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と家庭用品が4か月連続、雑貨と食料品が5か月連続のプラス。衣料品が4か月ぶりにマイナスとなった。また、化粧品、美術・宝飾・貴金属、家電、菓子が5か月連続、家具が3か月連続、生鮮食品が6か月連続、惣菜が11か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.1	—	4か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-3.6	-0.3	9か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-5.5	-1.0	4か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.8	-0.1	4か月ぶりマイナス
その他衣料品	-4.5	-0.1	3か月ぶりマイナス
衣料品	-4.8	-1.5	4か月ぶりマイナス
身のまわり品	5.8	0.7	4か月連続プラス
化粧品	5.2	0.3	5か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	6.7	0.4	5か月連続プラス*
その他雑貨	-7.4	-0.4	2か月連続マイナス*
雑貨	1.7	0.3	5か月連続プラス
家具	14.3	0.2	3か月連続プラス
家電	57.9	0.3	5か月連続プラス
その他家庭用品	-11.3	-0.4	2か月連続マイナス
家庭用品	2.2	0.1	4か月連続プラス
生鮮食品	0.1	0.0	6か月連続プラス*
菓子	4.3	0.3	5か月連続プラス*
惣菜	6.9	0.4	11か月連続プラス*
その他食料品	-1.0	-0.1	2か月ぶりマイナス*
食料品	1.9	0.6	5か月連続プラス
食堂喫茶	-3.1	-0.1	4か月ぶりマイナス
サービス	20.7	0.3	2か月ぶりプラス
その他	-17.1	-0.5	2か月連続マイナス
商品券	-24.8	-1.5	14か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>